

受付窓口へ提出する日付を記入

令和〇〇年〇〇月〇〇日

交付申請書（耐震改修計画策定費補助）

住宅耐震化促進事業補助金交付申請書

芦屋市長 宛

郵便番号も忘れず記入

（申請者）（〒659-8501）

住所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏名 芦屋 太郎

（上記代理人）（〒659-8501）

住所 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

氏名 (株)精道建築設計事務所

建築 一郎

（連絡先の電話番号 0797-0000-0000）

（連絡先のFAX番号 0797-0000-0000）

本人申請の場合記入なし。

収支予算書等との整合

芦屋市住宅耐震化促進事業（耐震改修計画策定費補助）を下記のとおり実施したいので、補助金 166,000 円を交付願いたく、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

建築士事務所等との契約予定日を記入
※交付申請日より後の日付
※契約は交付決定日以降に行う必要があります

1 事業の内容及び経費区分（別記収支予算書）

2 事業の着手予定年月日 令和〇〇年□□月□□日

事業の完了予定年月日 令和〇〇年△△月△△日

3 添付資料 芦屋市住宅耐震化促進事業実施要領の別表のとおりとする。

代金の支払予定日を記入

別 記

補助金額は、合計額の 2/3 以内かつ
200, 000 円以内とし、千円未満は
切り捨てして下さい。

収 支 予 算 書

補助対象金額を記入

1 収入の部

科目	予算額	摘要
補助金	166,000円	
自己資金	84,000円	
計	250,000円	

2 支出の部

科目	予算額	摘要
耐震改修計画策定費	250,000円	全体見積額 350,000円
計	250,000円	

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致する。
2 補助金は、見込み額を記入する。
3 支出の部の摘要欄には補助対象外も含めた額（契約額）を記入すること。
4 業者からのキャッシュバックやクーポン券等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

耐震診断・耐震改修計画策定住宅概要書（個表）

（耐震改修計画策定費補助）

住宅の名称	芦屋 太郎 邸		
住宅の所在地（地番）	兵庫県芦屋市精道町〇番〇号		① 申請者の住所と同一 ② 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	芦屋 太郎	
	住所	兵庫県芦屋市精道町7番6号 Tel.0797-000-0000	
建築確認年月日	昭和51年 5月23日 第1234号 ・ 不明		
検査済証	昭和51年10月29日 第6789号 ・ 不明		
建築年月	昭和51年10月頃竣工		
形態種別	① 戸建住宅 2 その他共同住宅 3 マンション 棟数 1棟, 戸数 1戸（うち補助対象戸数 1戸）		
規模（改修前）	地上 2階 地下 -階 塔屋 -階		
	建築面積	81.15 m ²	延べ面積 110.0 m ²
設備要件	① 居室 ② 台所 ③ トイレ ④ 出入口		
店舗等併用住宅の場合の規模	店舗等の用に供する部分の床面積 45.00 m ²	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分の床面積の割合 40.9%	
構造種別	① 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他（ ）		
住宅耐震改修計画策定費補助金額	166,000円		
耐震改修計画策定補助金額算定	戸建住宅	<input type="checkbox"/> 200,000円（上限） <input checked="" type="checkbox"/> 166,000円＝ 耐震診断・耐震改修計画策定見積額（250,000）× 2/3	
	その他共同住宅	<input type="checkbox"/> 円＝120,000円×（ ）戸（上限） <input type="checkbox"/> 円＝ 耐震診断・耐震改修計画策定見積額（ ） × [補助対象面積（ ）m ² / 全体面積（ ）m ²] × 2/3	
	マンション	<input type="checkbox"/> 円＝ 耐震診断・耐震改修計画策定見積額（ ） × [補助対象面積（ ）m ² / 全体面積（ ）m ²] × 2/3 <input type="checkbox"/> 円＝ 2,400円×（ア ）m ² +1,000円×（イ ）m ² +700円×（ウ ）m ²	
備考			

証明書*と整合させてください

すべて備えていない場合は補助対象外です

50%以上の場合は補助対象外です

（注）・その他共同住宅及びマンションの計画策定費算定における、補助対象面積及び全体面積は、専有面積（又は専用面積）を用いて算定するものとする。

※証明書について
 登記簿謄本の写し、固定資産税台帳登録証明、建築確認通知書又は検査済証の写し等で所有者、所在地、建築年月の確認を行います。

実績報告書（耐震改修計画策定費補助）

住宅耐震化促進事業実績報告書

芦屋市長 宛

郵便番号も忘れずに記入

(申請者) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏名 芦屋 太郎

(上記代理人) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

氏名 (株)精道建築設計事務所

建築 一郎

(連絡先の電話番号 0797-0000-0000)

(連絡先のFAX番号 0797-0000-0000)

交付決定通知日と番号を記入

令和〇〇年××月××日付け×××第1234号をもって交付決定のあった、芦屋市住宅耐震化促進事業に係る工事を下記のとおり実施したので、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第11条の規定により、その実績を報告します。

交付申請書に記載した日付を記入

記

- 1 事業の内容及び経費区分（別記収支決算書）
- 2 事業の着手年月日 (令和〇〇年□□月□□日)
令和〇〇年◎◎月◎◎日
- 事業の完了年月日 (令和〇〇年△△月△△日)
令和〇〇年##月##日

実際の契約日(契約書の日付)、代金支払日(領収書の日付)を記入
契約日は交付決定日以降の日

- 3 添付資料 芦屋市住宅耐震化促進事業実施要領の別表のとおりとする。

別 記

注意！決算書です

収 支 決 算 書

補助金額は、合計額の 2/3 以内かつ
上限 200,000 円以内とし、千円未満
は切り捨てして下さい。

1 収入の部

科目	予算額	摘要
(補助金) 補助金	(166,000円) 166,000円	
(自己資金) 自己資金	(84,000円) 84,000円	
()	()	
()	()	
計	(225,000円) 225,000円	

2 支出の部

科目	予算額	摘要
(耐震改修計画策定費) 耐震改修計画策定費	(250,000円) 250,000円	全体見積額 350,000円
()	()	
()	()	
()	()	
計	(250,000円) 250,000円	

合計金額は、契約書・領収書記載の金額と同じになります。
※契約書と領収書の金額は同じである必要があります。

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致する。
2 申請内容を上段に () 書き、
3 支出の部の摘要欄には補助対象外であることを記載すること。
4 業者からのキャッシュバックやクーポン券等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

“算定”を○で囲み、
“精算”を二重線で消す

令和〇〇年〇〇月〇〇日

補助金 **算定・精算書**

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇号

所在地 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

会社名 (株)精道建築設計事務所

代表者名 建築 一郎

計画策定の場合は住宅改修業者登録の必要はありません。

下記のとおり **見積り** ・ **精算** 致します。

(**耐震改修計画策定費補助**, **耐震改修工事費補助**)

住宅の所有者	芦屋 太郎	
住宅の所在地	兵庫県芦屋市精道町7番6号	
住宅の建て方 ^{※1}	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> その他共同住宅 <input type="checkbox"/> マンション	
(その他共同住宅の場合)	住戸数(a)	戸
	うち補助対象戸数(b) ^{※2}	戸
総工事費 (c)=(a)+(b)		3,210,840円
補助対象工事費 (a)		3,000,000円
その他工事費 (b)		210,840円
補助金額 ^{※3} (f)		(記入不要)円

※1 住宅の建て方について、該当するものに○を付けてください。

※2 所得が1,200万円以下、住戸数を記入してください。

※3 耐震改修工事費を記入してください。(耐震改修工事費が0円の場合は0円と記入してください。)

※ 変更交付申請の際に記入してください。

別添見積書記載の金額と同じになります。

※この欄は計画策定に要する費用ではなく、耐震改修工事を実施する場合の見積金額です。

(万円)以下の県民が所有する住宅の

に基づき算出した補助金額を記入して

ください。

【補助金額(f)の算定表】

区分	補助金額		
戸建住宅	<input type="checkbox"/> 1,100,000円(上限)		
	<input type="checkbox"/> 円 = 耐震改修工事見積額 () × 4/5		
その他共同住宅	<input type="checkbox"/> 円 = 600,000円 × () 戸(上限)		
	<input type="checkbox"/> 円 = 耐震改修工事見積額 () × [補助対象面積 () m ² / 全体面積 () m ²] × 4/5		
マンション	<input type="checkbox"/> 円 = 耐震改修工事見積額 () × [補助対象面積 () m ² / 全体面積 () m ²] × 1/2		
	<input type="checkbox"/> 円 = 補助対象面積 () m ² × 25,100円		
	<input type="checkbox"/> 絶対限度額		
	延べ面積の区分	絶対限度額	該当区分にチェック
	1,000 m ² 以上 5,000 m ² 以内	3,000万円	<input type="checkbox"/>
5,000 m ² を超え 10,000 m ² 以内	6,000万円	<input type="checkbox"/>	
10,000 m ² を超え 15,000 m ² 以内	9,000万円	<input type="checkbox"/>	
15,000 m ² 超	13,500万円	<input type="checkbox"/>	

(注)・その他共同住宅及びマンションの補助対象面積、全体面積及び延べ面積は、専有面積(又は専用面積)を用いて算定するものとする。

耐震診断報告書

芦屋 太郎 様

耐震診断者氏名 建築 一郎
(一級) 建築士 (大臣) 登録第 43210 号
建築士事務所名 (株) 精道建築設計事務所
(一級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第 98765 号

補助金交付申請者名を記入

芦屋 太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

記

1 住宅の名称	芦屋 太郎	診断方法、根拠となる書籍名(〇年版も含めて)などを具体的に記入
所在地	兵庫県芦屋市精道町7番6号	
2 耐震診断の方法	「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法	
3 改修前における耐震診断結果 ^{※1}	(所見) X方向・Y方向とも開口部が多く、既存壁量が不足していることから、上部構造評点が1階 X方向 0.36、Y方向 0.59となっており、倒壊する可能性が高い。	
評点	0.36	
4 改修後における耐震診断結果	(耐震改修の方針) 屋根の軽量化と耐震壁をバランスよく配置することにより、上部構造評点は両方向とも 1.0 を上回り、耐震性能の向上を図る。	
評点	1.08	
	(具体的な補強方法) (1) 耐震壁(モイスかべつよし)をバランスよく追加、増設する。 (2) 屋根を瓦からスレート板瓦に葺き替え、軽量化を図る。	
5 備考	改修後の評点が著しく高い場合(2.0以上)は理由書を添付してください。	改修前における所見、耐震改修の方針等については、Is値など定量的な指標を示しながら出来るだけ具体的に記述して下さい。

【添付資料】耐震診断計算書(改修前後)

- 平成12年度から14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は平成17年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果を添付することにより改修前の耐震診断計算書を省略することができます。(改修後の耐震診断計算書は省略できません。)

住宅耐震化促進事業補助金請求書

金 116,000 円也

記入しないこと。

ただし、芦屋市住宅耐震化促進事業補助金

<根拠>	補助金交付決定通知	[令和 第 年 月 日 号]
	補助金交付決定変更通知	[令和 第 年 月 日 号]
	補助金確定通知	[令和 第 年 月 日 号]

上記のとおり、補助金を精算（概算）払いによって交付されたく、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第15条第1項（第2項）の規定により、請求します。

年 月 日

記入しないこと。

芦屋市長 宛

(〒659-8501)

住 所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏 名 芦 屋 太 郎

印

振 込 先

金融機関名	〇〇銀行	支店名	〇〇支店
口座番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	預金種類	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 貯蓄
フリガナ	アシヤ タロウ		
口座名義（漢字）	芦屋 太郎		